

第213回液体クロマトグラフィー研究懇談会例会

日 時：2008年6月26日（木） 13時～17時00分

会場：[東京理科大学薬学部校舎 薬学部1442教室（14号館）](#) [アクセス](#)
[千葉県野田市山崎2641、電話：04-7121-1501、交通：東武野田線「運河」駅下車]
薬学部校舎へは、理工学部校舎を通り抜ける必要があります（徒歩7-8分）。
最寄り駅からのアクセスは[Yahoo路線](#)でお調べ下さい。

講演主題：生体試料を対象としたLC/MS分析法

近年、LC/MSは医薬や食品・環境分析など様々な分野で活用されています。生体試料を分析する際の分析法開発にあたり、装置メーカーやユーザー双方からの新たな技術的取り組みやアプリケーションは日頃の研究の参考になると考えられます。本例会では、生体試料を対象としたLC/MS分析に関するトピックスを紹介させていただきます。

講演

1. 講演主題概説 (13:00～13:05)

(花王(株))城 宏樹

2. LC FT-ICR MSの特長と応用例 (13:05～13:35)

(ジャスコインタナショナル(株))佐藤 成宙

3. LC/MS/MSによる生体試料中の低分子化合物分析に関するトピックス
(13:35～14:05)

(アジレントテクノロジーズ(株))小暮 佳史

4. ラベル化試薬を用いたLC/MS/MS分析例 (14:05～14:35)

(アプライドバイオシステムズジャパン(株))山田 茂

5. 薬物代謝試験を加速する生体試料LC/MS分析メソッド迅速開発法 (14:35～15:05)

(日本ウォーターズ(株))佐々木 俊哉

6. 薬物濃度測定法のバリデーションとその開発について (15:20～15:55)

((株)JCLバイオアッセイ)後藤 理恵子

7. 天然ポリフェノール類の血中動態解析 (15:55～16:30)

(花王(株))高須 義雄

8. 総括：生体試料分析におけるLC/MSの活用 (16:30～17:00)

(東京理科大学薬学部)中村 洋

参加費(含講演資料集代)

LC研究懇談会会員：1,000円、協賛学会会員(日本分析化学会含む)：3,000円、その他：

4,000円、学生:500円(当日受付にてお支払い下さい)。

カタログ展示

1小間:5,000円(場所スペースは運営委員に一任させていただきます)

技術・情報交流会

講演終了後、講師を囲んで技術・情報交流会を開催します。会費1,000円。

申込方法

参加希望者は、別紙の参加申込書([ここをクリックして](#)現れるページをプリントアウトしてご使用下さい)にご記入のうえ、FAXにより又は郵便によりお申し込み下さい(定員をオーバーした場合のみご連絡します。)

申込先

郵便番号141 東京都品川区西五反田1-26-2 五反田サンハイツ304号

(社)日本分析化学会 液体クロマトグラフィー研究懇談会

[電話:03-3490-3351、FAX:03-3490-3572、E-mail:hm_tanaka@jsac.or.jp]